



源池小学校体育館に集まる第三地区の皆さん

9月27日地区防災訓練は、「第三地区まちづくり協議会」の主催により約650名が参加して3年ぶりに開催された。まず防災行政無線による避難指示の放送で、隣近所を誘い合せて、各町会の一時集合場所へ集まり、要援護者を含む安否確認を行った後に、避難地である源池小学校校庭へ移動した。

9/27(日) 第三地区防災訓練

第三地区防災部長 勝家 正廣



第三地区

校庭で待機し、体育館の安全が確認された後に入場したが、移動の途中、高齢者や視覚障がい者を模した体験が行われ、体育館ステージでその体験談が報告された。引き続き、地区の各自治会がそれぞれ担当する避難所活動班の役割や当日の活動予定を紹介した。その後、市役所出前講座の「災害時に活き



視覚障がい等を模した体験者に感想を聞く

配食訓練は、体育館と廊下に長机35脚余を並べて実施した。日赤奉仕団の方々による炊き出しは豚汁とアルファ米で、とてもおいしかった。また、子どもたちへはお菓子が配布された。終わりの会では、消防署と校長先生の講評をいただいた。今回は、子どもとその親の

「近所の底力」、消防署による防災のお話と防災ビデオが放映された。また、健康づくり推進員の指導により、楽しく体をほぐす体操をした。一方、ステージと同じ時間帯に、避難所活動班は、班毎に色の異なるビブスを着用して、それぞれの活動を展開した。



放送委員会の子どもたちが会場アナウンス

訓練に参加した子どもたちの感想

災害時に放送が流れたら、きちんと聞こうと思いました。また、防災ビデオを見て家具には耐震装置をつけようと思いました。

東源池 池田 美遥

非常食のご飯が食べられて、良い経験になりました。また、ペットも一緒に避難できる所を作ってほしいです。

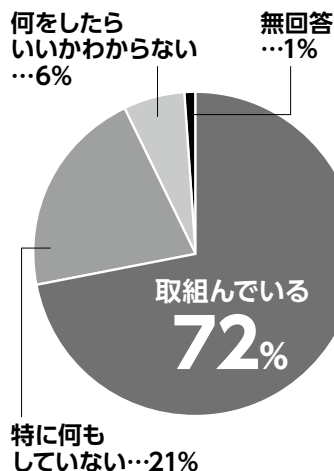
東源池 小松 優月

防災訓練でとん汁を運んだりするのがテキパキできて、自分から動くこともできたので、本当に地震などがおきた時もテキパキ動けると良いと思いました。

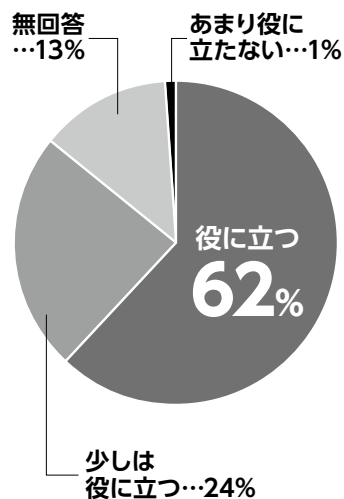
東長沢町 西條 璃美

訓練当日に実施した防災に関するアンケートの結果 (一部抜粋)

Q.あなたは普段から災害対策に取組んでいますか？



Q.今日の訓練は、役に立つと思いますか？



参加が目立った。また、体育館で進行を担当した源池小学館子ども会放送委員会の井沢 元和君と朝比奈隆誠君のアナウンスが好評だった。



新連載  
第三地区の若い力!

仕事を精一杯頑張る、第三地区の若い世代の方たちをインタビュー形式で紹介していきます!

Q お名前と年齢、町会を教えてください。

A 佐藤 佑輔。21歳。四ツ谷東町会です。

Q 職業は?

A 保育士です。

Q 仕事について今思うことは?

A 大変なことも多いけれど、子どもたちの成長に日々感動!

Q 自分の住むまち(第三地区)についてどう思いますか?

A 自分としてはあまり不便などは感じません。どうして地元に戻ってきたんですか?

A 地元を出てみて改めて松本の良さに気付かされたので。



第三地区  
秋のイベント

10/9 (金) ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会



10/3 (土) 世代間交流講座 ニュースポーツの集い



11/3 (火・祝) 旧中山道ウォーキング



10/25 (日) 第三地区体育協会主催ウォーキング大会



11/7 (土) 11/8 (日) 第16回 第三地区作品展

国宝の月光菩薩立像と聖観世音菩薩立像(奈良・薬師寺)の『背中』を拝観するため、奈良へ行ってきました。これらの菩薩像は、奈良国立博物館で開催された特別展「白鳳―花ひらく仏教美術―」にて、薬師寺から借りて展示されたもので、菩薩像を全身360度から間近に観ることができる又とない機会です。背面側から観上げる菩薩像は、両肩から豊かな背中が広がって、腰をひねり一方の足に重心を乗せ今にも動き出しそうであり、ブロンズ特有の表面のつやと相まって、艶めかしささえ感じる程でした。本来これらの仏像は、歴史のある御堂の中で光背を背にして置かれているため、人々は全体としての権威や威厳を感じるのですが、それらを取り除いた一体の仏像としてその凛とした御姿から、今の自分自身の姿を反面的に見たような気がします。今回、1300年以上前の時代の菩薩像そのものの姿に接して、物事本来の姿を周囲の様々な事情にとらわれずに見ることも必要ではと感じた奈良の旅でした。(武井 厚)

